



ふれ愛あなたと笑顔で

わかがえる

若蛙

No.109 2025 春号

令和7年4月1日(火)発行

高齢者総合福祉施設
ウィローふたば広報委員会

瀬戸市西山町1丁目46の18
TEL0561-87-4128(代) FAX0561-87-4129

さくらコレクション SAKURA

撮影：ふたば職員

新年度を迎えて

〜共に歩む幸せな暮らしの実現へ〜

施設長 加藤倫好

陽春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。桜の花が咲き誇る季節となり、新しい年度を迎えました。この春の訪れとともに、私たちウィローふたばの想いを皆様と共有させていただきたいと思っております。

ビジョン共に支え 共に笑い 共に幸せを

私たちが大切にしている想い、それは「共に支え 共に笑い 共に幸せを」という言葉に込められています。この言葉には、近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よしの三方よし」の精神が息づいています。誰か一方だけが利益を得るのではなく、ご利用者・家族よし、スタッフよし、地域よしが大切だと考えています。ご利用者ご家族の幸せ、スタッフの働きがい、そして地域との調和―これらすべてが重なり合って、真の「よし」が生まれると信じています。そのような施設関係づくりを目指しています。

サービスビジョン①「施設こそ在宅サービス、在宅こそ施設サービス」

当施設は、ご利用者お一人おひとりの「家」であり、「第二の故郷」でありたいと願っています。特に入所施設において私たちスタッフは、まるでご自宅に伺うヘルパーのような気持ちで、ご利用者に寄り添わせていただきます。また、在宅サービスをご利用の方々には、施設で過ごされる時と同じように、いつでもスタッフが身近にいるかのような安心感を感じていただけるよう、心を込めて支援させていただきます。

サービスビジョン②「接遇施設地域ナンバーワン」

ご利用者の方を一人ひとり価値ある「人」として敬い、全てのスタッフが温かい心を持って「です・ます」調で話します。命令口調ではなく依頼形での言葉遣いを心がけます。（*ただし認知症によりご利用者の方が、家族を求めるような場合はこの限りではありません。）言葉遣いと態度は、心の在り方が現れたものです。努めるべきは、スタッフ一人ひとりが持つ心の美しさを伝えることだと考えています。

人財育成ビジョン③「プロとしての専門性を磨き、人としての人間性を高める。」

スタッフ一同、介護の専門家としての技術を磨くと同時に、何より大切な思いやりの心と人間性を育んでまいります。ご利用者の人生の背景に思いを馳せ、ご家族の気持ちに寄り添い、地域の皆様との絆を深めながら、共に歩んでまいりたいと存じます。

職場ビジョン④「先進技術を取り入れた誰もが働きたいと思える職場づくり」

最新のケア技術の導入により、より快適な環境づくりを進めております。しかし、どれほど技術が進歩しても、私たちが最も大切にしているのは「心」です。ご利用者お一人おひとりを敬い、温かな言葉で語りかけ、その人らしい暮らしを支えること。それが、私たちの誇りです。働きやすいから、働きがいへ、そして働きたい職場を目指してまいります。

新年度を迎え、私たちは新たな決意と共に、皆様の笑顔あふれる暮らしのお手伝いをさせていただく所存です。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ディサービス



1月
9(木)
日

新春マジックショー

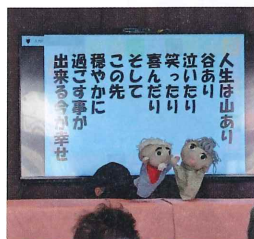
一宮市マジッククラブ会長
で特別養護老人ホーム「たんぽ
ぼ絆の里」の長野施設長をお迎
えし、新春マジックショーを開
催しました。
ダイナミックな演目に、みな
さんドキドキしながら大注
目！なんと、本物の可愛い鳩も
登場し、拍手と歓声で大盛況
でした。



人形劇

初企画

1月
30(木)
日

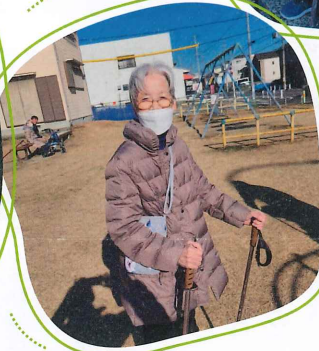


お題は「月」としても青いから一五十鈴
と浩一の人生物語」
ご利用者より、「ディサービスの皆さんと
人形劇を楽しみたい」とのご要望があり、実
現しました。主題は大きく戦争と人生につい
てです。
職員四名で人形や脚本、映像を制作し、稽
古をするなかで、歴史を学び楽しく演じる
ことが出来ました。ご覧いただいた皆様か
らは笑いと感動が溢れ、私たちもこのよう
な機会を与えてくださったことに感謝して
おります。



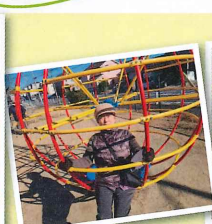
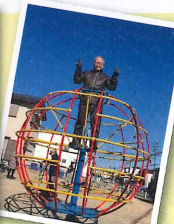
ケアハウス

ノルディックウォーキング 1月21日(火)



みんなで楽しく
ウォーキング。公園で
ひと休み!? した後は、
お茶会で心も身体も
ぽっかぽか。

※ノルディックウォーキングは、ポールを使って全身の筋肉をバランスよく使うウォーキングです。筋力・持久力・バランス保持力の向上と姿勢改善が期待でき、転倒防止や関節への負担軽減にも役立ちます。



NEW ACTIVITY

ボッチャ 2月4日(火)



※ボッチャはヨーロッパで生まれた、重度の脳性まひや四肢に重い障がいのある方のために考案されたスポーツで、現在はパラリンピックの正式種目です。ユニバーサルスポーツとして幅広い人々に楽しまれています。

会出場に向けて頑張りました!

入居者様からは、「すごく楽しかった!」「頭を使うね」「次は投げ方を変えてみよう」などの声が上がリ、ゲームを通じて良い刺激を受けた様子でした。新しい戦略を考えたり、次の挑戦を意識したりする姿が印象的でした。

次回はさらなるレベルアップを目指し、大会出場に向けて頑張りました!

瀬戸市社会福祉協議会の協力のもと、ボッチャ体験会を開催。
最初は遠慮がちだった入居者の皆様も、試合が進むにつれて次第に集中し、真剣な表情に。投球のたびに拍手や歓声が湧き、白熱した試合展開の中で、自然とチームワークが生まれ、会場は大いに盛り上がりました。



地域包括支援センター × ケアプランセンター 合同勉強会

ケアプランセンターと地域包括支援センターは、毎月合同で会議を行っています。会議では、情報共有や事例検討、勉強会などを通じて、ケアマネジメント能力の向上に努めています。

1月



地域包括支援センターの主任ケアマネジャーが中心となつて事例検討会(グループワーク)を行いました。
今回は、一人暮らしの高齢女性の事例について知恵を出し合い、より良い支援の方法を探りました。グループワークでは、日常生活における課題や心配点について意見を出し合いました。

それぞれの立場から考えられる支援方法について意見交換することで、一人では気づかなかった新たな視点が提案され、支援の可能性が大きく広がりました。

12月



ケアプランセンター主催で『居宅介護支援事業所における業務改善・生産性向上の考え方』に関する研修報告を行いました。
今後はAーやICTを活用し、業務改善やケアプラン作成などの事務作業を効率化することで、ご利用者により満足いただけるサービスの提供を目指します。

このように部署間で知識や経験を共有することは、ウィローふたば全体の支援力向上にもつながります。今後も定期的に勉強会を開催し、皆さまにより良い支援を提供できるよう、さらなる研鑽を重ねてまいります。

※ICTとは、情報やデータを効率的に収集・処理・伝達するための技術やシステムです。



介護の魅力を伝えるイベント ハートフル KAIGO in AICHI

開催報告

3月2日(日)、ウィローふたば主催のイベント「ハートフルKAIGO in AICHI」を久屋大通公園テレビヒロバにて開催いたしました。近隣の介護施設や病院、団体の皆さまから多数のご協賛をいただいたおかげで、盛大なイベントを実現することができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

イベントの目玉である「LINK WALK」では、県内の介護施設から現役介護職と高齢者の方々がペアとなってランウェイを歩きました。私たちの施設からは、ケアハウス入居者の朝見悦子さん、加藤田喜さん、職員の高城聖さん、久保美友さんが出演してくれました。

「二人ではできないけど、二人なら歩ける」をコンセプトに実現したこのファッションショーでは、参加された高齢者の皆さまが素敵な笑顔を見せてくださり、観客からも温かい声援が送られました。

イベントの目玉である

「LINK WALK」では、県内の介護施設から現役介護職と高齢者の方々がペアとなってランウェイを歩きました。



沢井里奈さん

マジックショー



総合MCを務めていただいたタレントの沢井里奈さんの素晴らしい進行により、会場は終始和やかな雰囲気になりました。同朋大学と名古屋福祉専門学校と学生さんたちによるトークショーでは、現役介護職とともに介護の魅力を熱く語り合う姿が印象的でした。

若い世代が明るく楽しそうに福祉を学ぶ姿に、私たちスタッフも大きな感動を覚えました。一宮マジッククラブ様によるマジックショーでは、観客の皆さまから驚きと歓声が上がり、会場を盛り上げてくださいました。

私たちにとって短い準備期間での開催となり、通常業務と並行しての準備は大変でしたが、職員一同力を合わせ、無事に事故なくイベントを終えることができました。この経験を通して、ウィローふたばとしての団結力も一層高まりました。

トークショー



ウィローふたば運営スタッフ



今回のイベントは、多くの方々にも命と暮らしを支える介護の仕事の魅力発見につながる機会になったと感じています。

この貴重な経験と絆を、これからの介護サービスの質向上に結びつけていきたいと考えています。

ご協力いただいた関係者の皆さま、ご来場くださった皆さまに心より感謝申し上げます。



介護学生さん



リンクウォーク参加者



leisure time ちよっと聞いて 私の趣味



たに みき
管理栄養士 谷 三貴

私は今、「塩」にハマっています！
私が塩に興味を持つようになったきっかけは母でした。
学生のころ、煮物作りを手伝った際、味見をした母が「塩が足りない」と一つまみ加え、味を調べてくれました。
すると、煮物の味が一気に引き締まり、いつもの母の味に。たった一つまみの塩が料理に与える力を知った瞬間でした。
それ以来、塩に魅了され、さまざまな塩を試しながら料理を楽しむようになりました。



特に気に入っているのは、与那国産の「黒潮源流」。この塩で握ったおにぎりは、冷めてもお米の甘みが引き立ち、家族5人分のお弁当作りに欠かせません。
最近では、息子たちも私の影響を受けたのか、遠征先で塩を買ってきてくれることもあります。
栄養士という立場から、単に減塩をすすめるのではなく、食を豊かにする塩の使い方を伝えていければと思います。

新入社員 紹介



1月
入社

ほり はつえ
堀 初恵

- ① 出身地 ② 血液型
 - ③ 趣味や特技 ④ 長所
 - ⑤ 座右の銘
 - ⑥ 尊敬する人(理由もあれば)
 - ⑦ この仕事を選んだ理由
 - ⑧ 抱負
- ① 尾張旭市 ② A型
- ③ 野球観戦(主に息子の応援)
- ④ マイペース ⑤ 凡事徹底
- ⑥ 以前の職場の上司
- 緩和ケアの認定看護師で、患者さんだけでなくスタッフからも信頼されています。
- 私もそのような関係性を築ける看護師になりたいと尊敬しています。
- ⑦ 利用者さんの人生を尊重し、一人ひとりに寄り添った関わりができる看護をしたいと思い、施設での勤務を選びました。
- ⑧ 働き始めて間もないですが、ふたばは人と人とのつながりが温かい職場だと感じています。私もその一員として恥ずかしいよう、人間性を高めていきたいです。

「CS・ES」 プロジェクト

ふたば委員会
紹介



「CS・ES」プロジェクトでは、ふたばの入居者様・利用者様・職員を対象に、2年に1回満足度調査を実施し、サービスの向上に努めています。

今年度はCS(顧客満足度)に関するアンケートを実施させていただきました。

皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、さらなるサービスの向上に努めてまいります。

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

※CS、ESとは
CS=Customer satisfaction(顧客満足度)
ES=Employee satisfaction(従業員満足度)

徳目朝礼 プロジェクト



ウィローふたばでは、全事業所で「13の徳目朝礼」を実施しています。この朝礼は、「人間力」「考える力」「仕事力」「感謝力」を高めることを目的としたコーチング型の朝礼です。

朝礼では、その日の目標を立て、振り返りや気づきを共有し、感謝したことを発表します。

これにより、自分や他者の考え方や仕事への向き合い方を知り、多くの学びを得られるようになりました。

13の徳目朝礼は、様々な企業で導入されており、2月には各企業対抗の「13の徳目朝礼東海ブロック大会」に出場させていただきました。各部署からスタッフを選出し、チームビルディングを開始。「やるからは優勝を目指そう」という意気込みで、明るく元気に参加致しました。

そして、沢山のお応援をいただき見事、最優秀賞を受賞できました！

編集後記

新年度がスタート！

春の日差しが心地よく、色とりどりの花が咲き始める季節となりました。新しい環境に踏み出す方も多いこの時期、期待とともに不安を感じることもあるかもしれません。そんな時こそ、身近な幸せに目を向け、小さな喜びを大切にしながら、一日一日を前向きに過ごしていきたいですね。

これからも、皆様の毎日に笑顔と彩りを添えられる広報誌を目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします！

Instagram更新中！施設の様子を見て頂けます！

